

都市計画道路の見直し(素案)に関するパブリックコメントの回答について

- ◆意見の募集期間：令和4年12月1日（木）～令和5年1月6日（金）
- ◆意見提出者（意見数）：1名（1件）
- ◆ご意見及び回答：以下のとおり

ご意見(原文のまま)

先般、都市計画道路今魚店金谷線の見直しが行われ、道路計画の廃止が答申されました。

その主な理由として、①需要が見込めない、②計画地区の市街化が進み土地買収が難しい、③川内と雑式町を結ぶ橋の工事費が高額となるなどが指摘されました。

しかし、この答申は今魚店金谷線全体としては妥当であるかもしれませんが、部分的には妥当であるとは言い切れません。例えば、計画道路沿線の市街化の程度は必ずしも一様ではないからです。

そこで、まずは雑式町地区の計画道路の実現をお願いいたします。雑式町地区は田畑が広がり、中には休耕地もかなり見受けられます。従って土地買収も容易であると思われます。当面、橋を架ける必要もありません。

残るは需要です。雑式町地区で計画道路を実現する際の問題点として、水害の可能性が指摘されています。確かに過去において水害が起きたのは事実です。そのため、雑式町地区では宅地開発された地域で水害が起きると、これらの住宅が孤立する恐れがあります。さらに重要な問題は椿西小学校がこの地区にあり、農道を通学路として使用しているため、急な水害により幼い犠牲者が発生する恐れがあることです。また、住民から避難施設である市民体育館へのアクセスも妨げられます。従いまして、県道や国道と同じ高さの計画道路を実現し、さらに小学校・体育館からこの計画道路に接続する南北道路を加えることよって避難道路として活用されます。

道路を作るにあたってはその需要が十分に検討されることが重要であります。しかし、その需要も地域住民の安全・安心が十分に確保された後での話です。道路のコストパフォーマンスを考える前に、地域の防災を確保することが優先されるべきではないでしょうか。

一旦、道路ができれば、需要は後から付いてきます。雑式町地区は、つい最近ビジネスホテルの進出が計画されましたが、道路事情が貧弱であるとの理由で断念したと聞いています。萩の宿泊施設は他の地域に比べて十分ではなく、萩に観光に訪れた客は、山口の湯田温泉や長門湯本温泉に宿泊することが多いそうです。折角、明治維新発祥の地という圧倒的な観光資源を持ちながら、道路が無いばかりにお金は他の地域に落ちてしまっています。雑式町地区は市街化されていない広大な土地が残っています。道路さえできれば、人口が張り付き、この地区にはまだない大型店舗の進出が期待できます。また、大学等の教育機関を誘致すれば、金谷天満宮もあることから文教地区として発展することでしょう。

以上の論点から、今魚店金谷線の再考をお願いする次第です。

◆市の考え方

平素より、本市の都市政策行政にご理解ご協力いただき大変感謝いたしております。また、この度は、貴重なご意見を賜り厚くお礼申し上げます。

この度の都市計画道路網の見直しにつきましては、人口減少や高齢化を背景とした集約型都市構造への転換等を機に、これまでに事業が実施されていない既定の都市計画道路（幹線道路）の必要性等について検証を行ったものです。

当該地区における都市計画道路の整備につきましては、将来的な開発圧力や交通需要の増加は見込めないことなどからも、廃止が妥当であると考えております。

頂いたご意見につきましては、椿地区のまちづくりにおける貴重なご意見として、関係課と意見共有を図ってまいります。